

## 事業名：市営牧野管理経費

農業振興課 農畜産係

政策	02 明日につながる産業の振興							
施策	01 都市型農業の推進							
基本事業	02 生産性の高い農業経営の確立							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営牧野

手段（事務事業の内容、やり方）

地元の関係団体等により維持管理を実施。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営牧野が適切に管理される。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市営牧野数	箇所	7	7	7	7
対象指標2						
活動指標1	維持・管理経費	千円	48	5	8	10
活動指標2						
成果指標1	肉牛飼養頭数	頭	929	872	847	872
成果指標2						
事業費(A)		千円	48	5	8	10
正職員人件費(B)		千円	401	802	781	391
総事業費(A+B)		千円	449	807	789	401

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	市営牧野（深川市）の維持・管理	・市営牧野（深川市）への旅費 8千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>以前は「まき牛」（種牛と繁殖牛を同時放牧して交配させる方法：H10まで市営牧野でも実施）が主流であったが、現在はこの方法では市場価値が極めて低いことから、人工授精による市場価値の高い優良種雄牛の種を利用することとなり、入牧頭数が減少したため、平成18年度から休止している。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である <b>妥当性が低い</b>	理由 根拠 <p>深川牧野は利用を休止しており、利活用方法を検討中である。経費については、維持管理のために最低限必要な金額である。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう <b>貢献度小さい</b> 基礎的事務事業	理由 根拠 <p>利用を休止しているため。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がらない	理由 根拠 <p>深川牧野は、深川市の和牛生産者へ一部利用を許可したことにより、肥培管理が行われ、牧野としての機能が維持されている。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 <b>成果向上余地 小・なし</b>	理由 根拠 <p>現在休止中ですが地元関係団体の自主管理により維持管理を実施している。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある <b>なし</b>	理由 根拠 <p>現在牧野としては休止中である。</p>